



普通科



平成 24 年度「学力向上フロンティア校」に**5年連続**指定！
自主性・自立心を育てる取組を通して、バランスのとれた人格の形成を目指します。

今年度の「学力向上フロンティア校」
支援事業テーマは、
**「自律・自主・自立
～みらいへの黄金比～」**

本校では『文武両道』を合言葉に、8割近くの生徒が「学習」と「部活動やボランティア活動」とを両立させています。また、「日本一挨拶のできる学校にしよう。」という校長先生の言葉を生徒、教員が実行し、廊下ですれ違うときには、「おはようございます」、「こんにちは」、という元気な声が響きます。福高では、学習だけではなく、仲間と温かい人間関係の中で切磋琢磨し、落ち着いて学習に取り組むことができる環境が整っています。

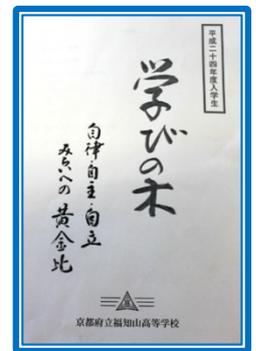
学習面では、1年生を対象に「日々の演習」として毎日家庭課題を行う取組を実施しています。学習習慣が身につき学力が伸びると好評です。

しかし、与えられた課題を行うことが本当の学力ではありません。福高は、自分の生活スタイルや重点科目等に応じて学習時間の効率的なバランス配分や最も適した比率（黄金比）を自分で考え、自らの力でみらいを切り拓く力が重要だと考えています。一人一人の「夢」を実現させるため、生徒の自主性を引き出しながら真の学力を育むことを学校全体の目標として取り組んでいます。

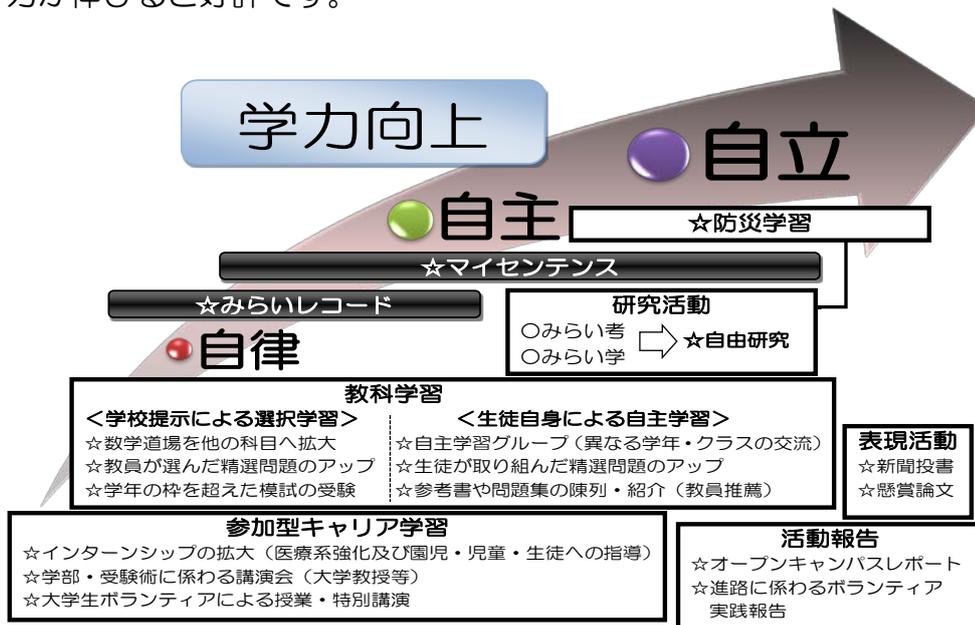
「普通科」のコーナーでは、年間を通して普通科の取組、並びにフロンティアの取組について御紹介します。

「学びの木」でスムーズに高校生活へ

期待と不安の入り混じった1年生が、スムーズに高校生活になじめるよう、担任や教科の各先生から、高校生活の心



構えや、中学校との違い、教科の学習方法について、資料「学びの木」を用いて、丁寧に説明していただきました。





みらいの窓

～福知山高校に入学して～



1年3組 宇田 佳織さん
(舞鶴市立城南中学校出身)

「至誠を貫きなさい。至誠とは、普段やらなければならないことを、真剣に本気で、誠意をもってやることだ。」これは吉田松陰の言葉で、中学校の社会の授業で最後に教わったことです。私は自分の意志で挨拶をしたことなど数えるほどです。そんな私がこれから知り合いのいない環境に飛び込みます。挨拶もできないのに友達ができるとは思いません。だからこの機会に、挨拶ができる人になりたいです。

私はずっと文武両道を目指してきました。でも黒板を写すことが人一倍遅い私には厳しいと思います。途中で直さないといけないところがあれば、大きい目標を立ててもかなえられないことを知っています。だからまずは、板書を時間内に写しきる、そんな当たり前すぎることからできるようにしていきたいです。そして至誠を貫くこと。基礎から一步一步、ゆっくりでも着実に歩いていき、ずっと決めていた文武両道を達成する、これが私の抱負です。



1年生の学習風景

1年2組 梅原 菜々子さん
(綾部市立豊里中学校出身)

私は、この3年間の高校生活を悔いのないものにするために、何事にも手を抜かずに取り組んでいきたいと思っています。特に勉強の面では、3年後の大学受験をしっかりと意識し、苦手な教科の克服に頑張っていきたいと思っています。

また、今はまだ決めてはいませんが、勉強以外にも何か打ち込めるものを見つけたいと思っ

ています。そのために、自分に合う部活動を早く見つけたいと思います。

今まで私はずっと1クラスだけだったので、新しい友達ばかりというのは初めてです。だから、今は友達ができるかとても不安です。でも、高校生活をよりよいものにするためにもたくさんの友達を作りたいと思っています。

これから高校生活を送っていく中で、たくさんの苦労や困難を経験することがあると思いますが、この福知山高校でしっかりと経験を積み、悔いのないよう頑張りたいです。



学びの木を使っての教科ガイダンス

1年5組 梅原 碧さん
(福知山市立日新中学校出身)

私は、高校生活で部活動と勉強を両立させることが自分をより一層成長させると 생각합니다。

部活動は、バスケットボール部に入ります。上手な人とプレーできることが楽しみです、技術を磨いて他の人に勝てるようになりたいです。また、チームプレー、上下関係等を大事にすることは、この先大人になるうえでも役立つと考えています。だから、部活動をすることに重要性を感じます。

勉強面は、「苦手を作らない。」を私の目標にして頑張ります。そのために、予習、授業、復習の3つを定着させ、分からないところがあれば友達や先生に尋ねるように心がけたいです。そして、高校で学んだことを生かし、大学で勉強し、夢である「教育者」になることが現段階での最終目標です。